

# リーダーズ

Council of leaders for  
parenteral and  
enteral nutrition

会 場

千里金蘭大学

会 期

2022年9月24日(土)  
25日(日)

## 第12回 静脈経腸栄養管理指導者協議会学術集会 (PEN Leaders) 講演記録集

### － プ ロ グ ラ ム －

- ランチョンセミナー  
「末梢静脈栄養の過去、現在、そしてこれから」
- ディベート  
「胃瘻の適応」
- 一般演題
- 症例相談
- イブニングセミナー  
「経腸栄養アクセスの管理:ISO80369-3の使い方」
- シンポジウム  
「短腸症候群に対する栄養管理」
- 激論企画  
「NSTはがんばっている?」
- 特別講演(岡田正メモリアルレクチャー)  
「管理栄養士としての栄養管理歴:感動がエネルギー」



# プログラム

## 9月24日（土）

11:30～11:35	<b>開会の挨拶</b> 当番会長：目黒 英二（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院）
11:35～12:15	<b>ランチョンセミナー「末梢静脈栄養の過去、現在、そしてこれから」</b> 座長：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 演者：松末 智（医療法人桐葉会 木島病院） 共催：株式会社大塚製薬工場
12:15～12:40	<b>ランチタイム</b>
12:40～14:10	<b>ディベート「胃瘻の適応」</b> 座長：西口 幸雄（大阪市立総合医療センター） 目黒 英二（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院） ディベーター：森安 博人（南和広域医療企業団 五條病院） 伊藤 明彦（東近江総合医療センター） 林 泰生（杉田玄白記念 公立小浜病院） 野呂 浩史（市立芦屋病院） <b>D-1 食道癌の化学療法中の患者に対して、胃瘻造設した症例</b> 要石 真利（JA 愛知厚生連 海南病院 栄養管理室） <b>D-2 自宅退院を強く望んだ上顎洞癌終末期患者の胃瘻造設症例</b> 田中 晴香（医療法人青仁会 池田病院 NST）
14:10～14:40	<b>企業 PR プレゼンテーション</b> 座長：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門）
14:40～14:50	<b>総会</b>
14:50～16:30	<b>一般演題 1</b> 座長：山内 健（佐賀県医療センター好生館） 大里 恭章（医療法人徳洲会 八尾徳洲会総合病院） 関 徹也（東京医科大学八王子医療センター） <b>口演 1-1 脂肪乳剤点滴投与に代わる脂質補充手段としての食用油注入投与の試み</b> 井上江里子（医療法人恵泉会 堺平成病院 看護部） <b>口演 1-2 サルコペニアを呈する廃用症候群患者に対する栄養管理とリハビリ介入の1例</b> 新開谷まゆき（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院 リハビリテーション科） <b>口演 1-3 回復期病棟へ転棟後高度な体重減少をきたした症例</b> 山中 章平（医療法人青仁会 池田病院 NST） <b>口演 1-4 栄養管理状況が褥瘡の経過に大きく影響した1症例</b> 小山 照代（福井県立病院 栄養管理室） <b>口演 1-5 呼吸リハビリテーション後の分岐鎖アミノ酸の摂取が COPD 患者の骨格筋に与える影響</b> 田村 宏（市立芦屋病院 リハビリテーション科） <b>口演 1-6 兵庫県・奈良県・滋賀県・和歌山県・京都府下調剤薬局における在宅静脈栄養輸液調製の実施状況に関する調査</b> 辻本 貴江（神戸学院大学 薬学部） <b>口演 1-7 経腸栄養管理における低セレン血症の状況とアセレンド注によるセレン補充の効果</b> 湧上 聖（宜野湾記念病院）
16:30～17:30	<b>症例相談</b> 座長：栗山とよ子（福井県立病院） 飯塚 堯（独立行政法人国立病院機構 高崎総合医療センター） <b>症例 1 膵頭十二指腸切除術後に高度脂肪肝と異常な高 LDL- コレステロール血症を呈した症例</b> 兒玉 遥（東京医科大学八王子医療センター 栄養管理科） <b>症例 2 食道癌術後、栄養管理に難渋した症例</b> 橋詰 唯（福井県立病院 栄養管理室）
17:30～18:10	<b>イブニングセミナー「経腸栄養アクセスの管理：ISO80369-3 の使い方」</b> 演者：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 共催：ニプロ株式会社

## 9月25日（日）

9:00 ~ 10:30	<p><b>シンポジウム「短腸症候群に対する栄養管理」</b></p> <p>座長：吉川 正人（医療法人愛心会 東宝塚さとう病院） 米倉 竹夫（奈良県総合医療センター）</p> <p><b>S-1 高位空腸瘻を有するヒルシュスプルング病類縁疾患の小児に対する長期静脈栄養管理と合併症を防ぐ工夫</b> 山内 健（佐賀県医療センター好生館 小児外科）</p> <p><b>S-2 ヒルシュスプルング病類縁疾患により乳児期から空腸ストマで管理している女児の栄養戦略：15年間の紆余曲折</b> 北河 徳彦（神奈川県立こども医療センター 外科）</p> <p><b>S-3 腸管不全関連肝障害から肝不全に至った短腸症候群の1症例</b> 関 徹也（東京医科大学八王子医療センター 栄養管理科）</p> <p><b>S-4 残存小腸60cmとなった短腸症候群患者が再び完全経口栄養へ移行できた1例</b> 奥 和晃（枚方公済病院 栄養科）</p>
10:30 ~ 11:20	<p><b>一般演題 2</b></p> <p>座長：木許 健生（大阪府済生会茨木病院） 秀村 晃生（関東労災病院）</p> <p><b>口演 2-1 CVC 抜去時に発生した皮下気腫および縦隔気腫の1例</b> 目黒 英二（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院）</p> <p><b>口演 2-2 カテーテル入れ替えにより診断され短期間の高カロリー輸液投与を施行した左上大静脈遺残症の1例</b> 吉田 眞之（地方独立行政法人 大阪府立病院機構 大阪母子医療センター 小児外科）</p> <p><b>口演 2-3 単純CTを用いたPICC挿入シミュレーション画像の検討</b> 野呂 直樹（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院 放射線科）</p> <p><b>口演 2-4 食道亜全摘後、腹腔鏡・内視鏡合同手術（LECS）による空腸瘻造設の経験</b> 野呂 浩史（市立芦屋病院 外科）</p>
11:20 ~ 12:15	<p><b>激論企画「NSTはがんばっている？」</b></p> <p>座長：北出 浩章（関西医科大学総合医療センター） 栗山とよ子（福井県立病院）</p> <p><b>精神科病棟とNSTが連携して適切な栄養管理を継続し、胃瘻栄養を経て経口摂取が可能となった症例</b></p> <p>演者：山田 麻由（福井県立病院）</p>
12:15 ~ 13:00	<p><b>岡田正メモリアルレクチャー「管理栄養士としての栄養管理歴：感動がエネルギー」</b></p> <p>座長：井上 善文（大阪大学 国際医工情報センター 栄養デバイス未来医工学共同研究部門） 演者：油田 幸子（鹿児島厚生連病院 栄養管理科）</p>
13:00 ~	<p><b>次回学術集会のお知らせ、閉会挨拶</b></p> <p><b>第12回当番会長 目黒 英二（社会福祉法人函館厚生院 ななえ新病院）</b> <b>第13回当番会長 山内 健（佐賀県医療センター好生館）</b></p>

～ 14:00 現地参加の方には、お弁当の提供があります（昼食会場）。